



2009年11月27日(金)

【緊急セミナー】
どうなる？ドル円！14年ぶりに84円台を記録。今後の焦点
は！？

武部力也（たけべ りきや）/東京都出身/岡三オンライン証券 事業戦略部部長

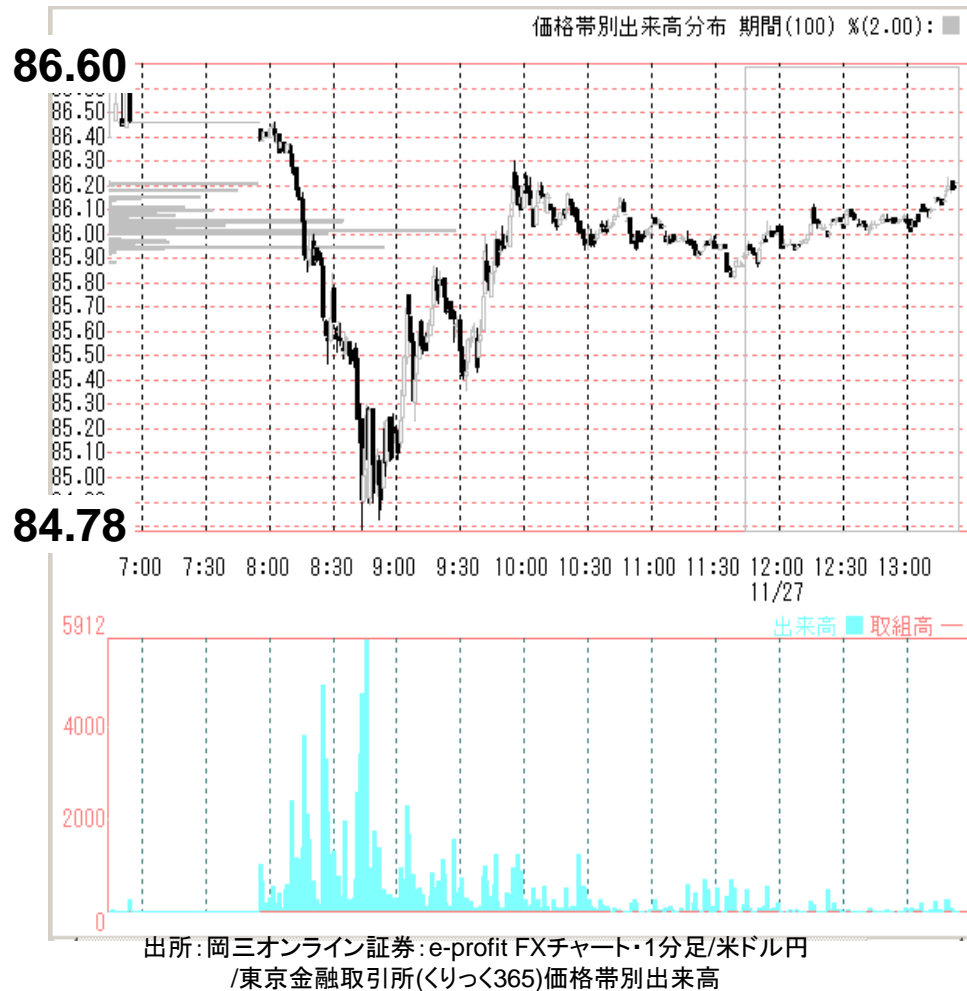
- 1989年 東京短資入社。トウキョウフォレックス、トウキョウフォレックス上田ハーローに出向し、天安門事件、湾岸戦争、ロシアクーデター、超円高、バブル崩壊、金融再編日本クライシスを背景とした東京外国為替市場のインターバンク最前線でドル円外為ブローカーとして勤務。
- 2000年 日経225先物指数オプションエクイティ・デリバティブトレーダーに転じ、為替に加え株式先物市場の厳しさも経験。
- 2001年 トウキョウフォレックストレイダーズ証券において情報企画部部長、金融法人事業部部長。為替・証券分析レポート等の執筆ほか、FX、225、海外投信ファンドの組成販売を金融機関や一般法人向けに執行。
- 2006年 トウキョウフォレックス（現：（株）マネックスFX）で法人営業デスク、営業推進部長、マーケティング部次長。
- 2009年 岡三証券入社。岡三オンライン証券 事業戦略部部長。趣味・剣道、映画鑑賞。

----最近の活動----

- 公式ブログ：力也のFX道場
- ラジオNIKKE「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ！」出演
- その他、金融系マーケットメディア、新聞、雑誌など

<免責事項> 提供している情報の内容について、岡三オンライン証券が保証するものではありません。本資料掲載の銘柄について、岡三オンライン証券が一切推奨するものではありません。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、岡三オンライン証券は責任を負いません。投資にあたっての最終判断はお客様自身の判断でお願いします。

95年7月以来の1ドル=84.78銭を記録



2009年11月27日AM8:44 1ドル=84円78銭を記録

経緯と背景

●米サンクスギビング感謝祭祝日前後、クリスマス休暇を控えて市場流動性が低下する中、米企業決算、キャリートレードのポジション整理や益出しキャッシュ化。

●25日に公表された11月米連邦公開市場委員会(FOMC)議事録で「最近のドル安は秩序立っている」からドル安容認との見方。

●鳩山首相をはじめ藤井財務相も円高が進んだ要因について、あくまでもドルの下落にあるとの認識で円買いを仕掛けさせられやすい状況だった。

●テクニカル的に約14年ぶりの円高ドル安水準で輸出予約・為替予約での仕組み債、ハイブリッド債、ノックアウト付きオプションの大量のドル売り・円買い注文の執行が加担。

●アラブ首長国連邦(UAE)ドバイ首長国の政府系投資持ち株会社ドバイ・ワールドが、債務繰り延べ要請。2001年のアルゼンチン以来で最大のデフォルト(債務不履行)につながる恐れから信用不安が台頭。通貨避難的に円が選好。

介入はあるのか？考察①

中川財務相兼金融相(当時)
公表:2008年10月27日
「主要7ヶ国財務省・中央銀行
総裁会議(G7)は、円の変動に懸念を表明する」と
いう共同声明を発表。
→過度の為替変動は経済
に悪影響を与えるとともに、
為替相場を引き続き注視する
という見解

「円の過度な変動」、つまり
ボラティリティーに対する
メッセージ。緩やかな円高
推移なら許されるの
だろうか？



• 出所: 岡三オンライン証券: e-profit FXチャート・日足/米ドル円

介入はあるのか？考察②

2009年9月3日 藤井民主最高顧問「為替介入、よほど異常なとき以外やるべきではない」

9月16日 藤井氏、財務相就任「為替が緩やかに動いたら為替介入には反対」
＜細川政権大蔵大臣当時93年8月9日－94年6月30日2兆703億円の
円売り・ドル買いを実施＞

9月17日「輸出支援の円安誘導は良いことではない」

9月25日「円安政策は取らない」「安易な市場介入は支持しない」

9月28日「輸出、大企業を中心に皆が潤う時代は終焉」「最近のドル/円の動きは異常ではない」

9月29日「為替が異常に動いたら国益に反する、しかるべき措置」

10月15日「円安が良くないとか円高が良いとはひと言も言っていない」

11月10日「円高はドル安、米経済政策の問題」

11月25日「円高はドルの弱さのため」

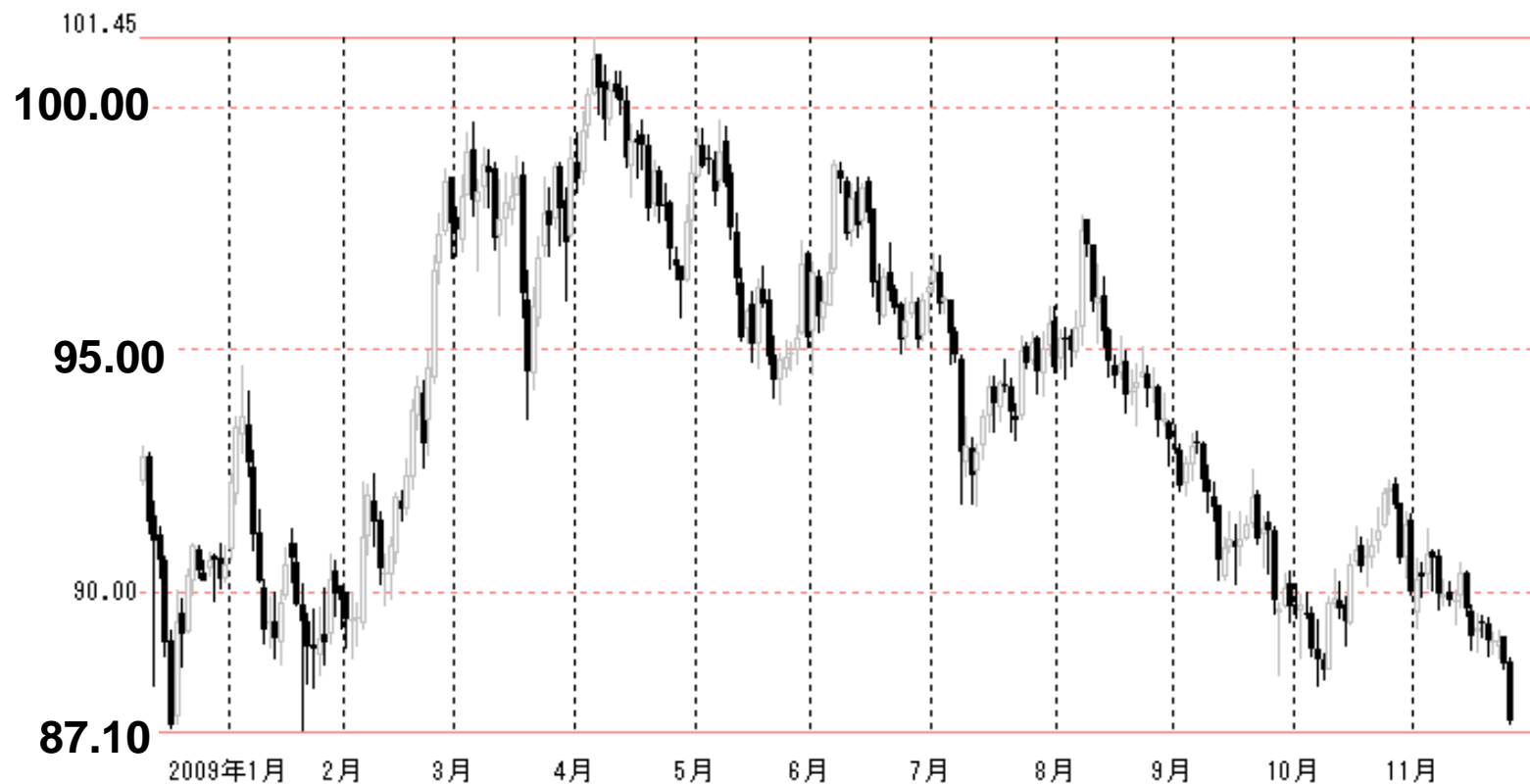
11月27日「共同声明の検討も含め、欧米と臨機応変にやり取り」

「介入については申し上げない」「適切な措置取ることもあり得る」

「為替動向、必要に応じて米欧と連絡を取る」

「景気への影響、円高の害のほうはずっと大きい」

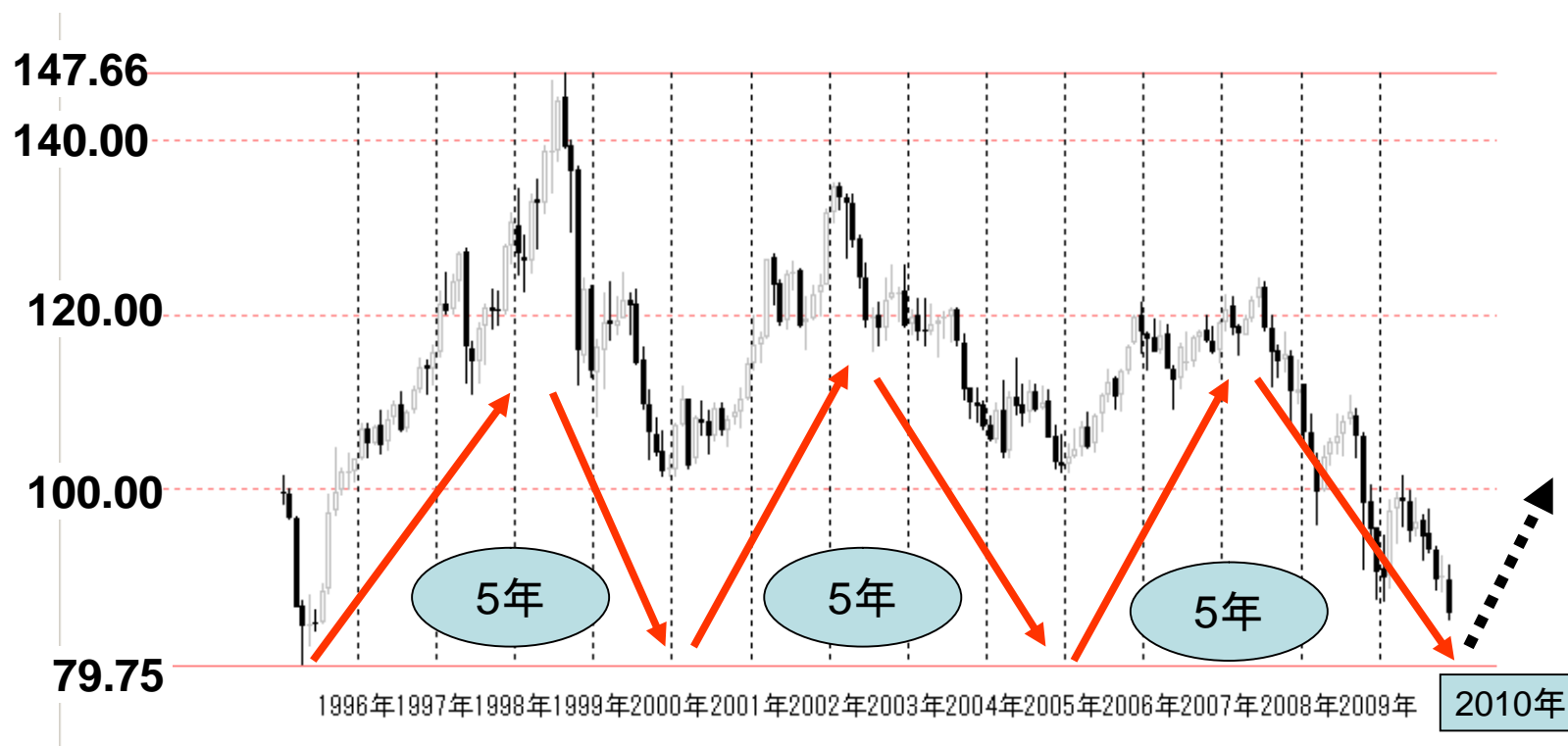
介入はあるのか？考察②



出所：岡三オンライン証券：e-profit FXチャート・月足/米ドル円

<免責事項> 提供している情報の内容について、岡三オンライン証券が保証するものではありません。本資料掲載の銘柄について、岡三オンライン証券が一切推奨するものではありません。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、岡三オンライン証券は責任を負いません。投資にあたっての最終判断はお客様自身の判断をお願いします。

ドル円相場は反転か、継続か？



仮説：5年サイクル

<免責事項> 提供している情報の内容について、岡三オンライン証券が保証するものではありません。本資料掲載の銘柄について、岡三オンライン証券が一切推奨するものではありません。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、岡三オンライン証券は責任を負いません。投資にあたっての最終判断はお客様自身の判断をお願いします。

投資リスク・手数料・証拠金/保証金について

商号等: 岡三オンライン証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第52号

投資リスク

為替相場は日々変動するため、相場状況により証拠金/保証金以上の損失が発生する可能性があります。取引通貨の金利変動等によりスワップポイントの受取額が増減する可能性があります。また、ポジションを構成する金利水準が逆転した場合は、スワップポイントの受取りから支払いに転じる可能性があります。相場の急激な変動時等に取引を行うことができず不測の損害が発生する可能性があります。システム、通信回線等の障害により注文発注、執行等ができず機会利益が失われる可能性があります。

手数料

岡三オンラインFX（くりっく365）

約定が成立した時点で、1取引単位ごとに105円（税込）の手数料がかかります。

岡三アクティブFX（店頭FX）

岡三アクティブFXの取引手数料は、取引数量にかかわらず0円です。

岡三オンラインFX（くりっく365）

証拠金/保証金

岡三オンラインFX（くりっく365）

取引単位ごとに証拠金をお預りいたします。発注証拠金は、

「1取引単位当りの発注証拠金額×発注数量」

で計算し、通貨ペア（23通貨ペア）ごとに異なります。

岡三アクティブFX（店頭FX）

必要保証金は、お取引される通貨ペアの現在値の仲値に取引数量と必要保証金率を乗じた額となります。必要保証金率は、1%となります。

【対円通貨ペアの場合】

必要保証金 = 現在値の仲値 × 取引数量 × 必要保証金率(1%)

【クロス通貨ペアの場合】

必要保証金 = 現在値の仲値 × 取引数量 × 必要保証金率(1%) × 通貨交換レート

通貨ペア	発注証拠金額
米ドル/円	10,000円
ユーロ/円	13,000円
英ポンド/円	15,000円
豪ドル/円	7,000円
スイスフラン/円	17,000円
カナダドル/円	15,000円
NZドル/円	11,000円

※証拠金抜粋 詳しくは当社ホームページをご覧ください。

※ご投資にあたっては、取引所為替証拠金取引説明書、外国為替保証金取引説明書等を十分にお読みください。